

River Diary

H28

3/10 四季彩マラソンロードに 今年も蜂須賀樹を植樹

とくしまマラソンのコースである吉野川沿川を桜並木や四季折々の花で彩ろうという「四季彩マラソンロード」プロジェクトも早や5回目。今年もは応神町吉成字前須の吉野川左岸堤防に植樹。東光株式会社の皆さんの手で育てていただきます。



7/29~31 吉野川フェスティバルでPR

夏の恒例行事「吉野川フェスティバル2016」に今回もブースを出展しました。パネルでの事業紹介、機関誌等によるPR活動、そして、コマとヨーヨーの色つけ体験を行いました。また、兄弟縁組の「筑後川」から出展いただきました。

8/7 上流探検へ出発!!

交流体験 in よしのがわ(上流編)は四国の水がめ・早明浦ダムへ。ダムの内部を見学してその役割や水の大切さを学んだり、汗見川で水難事故防止についての講習を行い、小学生親子20名が有意義な夏休みの一日を過ごしました。



8/9 おさかな博士に学ぶ川魚かんさつ会

交流体験 in よしのがわ(下流編)は鮎喰川で。小谷寛二先生(広島文化学園大学健康福祉学科特任教授)の指導で水難事故防止について学んだ後、佐藤陽一さん(県立博物館自然課長)を講師に川魚観察会。小学生親子33名がつかまえた魚について佐藤先生がわかりやすく解説してくれました。夏休みの自由研究はこれでバッチリ!



8/11 カヌー体験に歓声

交流体験 in よしのがわシリーズの最後は、中流の四国三郎の郷付近で開催。小学生親子42名が参加して、まずは小谷寛二先生による水難事故防止講習。スローバックやライフジャケットの使い方を学んだ後、川の達人・AMEMBOのスタッフの指導でカヌーに挑戦しました。天候や川のコンディションにも恵まれ、夏休みのすてきな思い出ができました。



11/3 ボランティアフェアでPR



新町川水際公園で開催された「第12回NPOボランティアフェア」にブースを出展しました。子ども達にはコマとヨーヨーの色つけ体験を楽しんでもらい、大人の方には機関誌や入会案内で当会議のPRを行いました。



NPO法人蜂須賀樹と武家屋敷の会をはじめ、会議の事業推進に特に顕著な功績のあった13団体に、福永会長より表彰状が贈られました

平成28年5月31日、徳島グランヴィリオホテルで開催した平成28年度吉野川交流推進会議総会において、事業計画等を協議いただきました。また、アドプト・プログラム吉野川参加団体・企業のうち、活動の顕著な団体・企業等に感謝状を贈呈しました。今年度の事業計画は下記のとおりです。

◆◆◆ 平成28年度総会を開催しました ◆◆◆

交流事業

- ◆ アドプト・プログラム吉野川の推進
- ◆ 子どもの交流体験事業の実施
- ◆ 地域イベントとの交流事業の実施
- ◆ 三大河川交流事業の実施(流域間交流事業)
- ◆ 国土交通省との共催事業の実施
- ◆ 「二ユースレター」の発行
- ◆ 「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」との連携事業の実施

情報発信事業

- ◆ 機関誌「四国三郎吉野川」の発行
- ◆ インターネットによる全国への情報発信
- ◆ 各種イベントでの活動のPR、パネル展など
- ◆ 会員の募集
- ◆ イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、賛助会員を募集

吉野川のメンバーが 利根川、筑後川を訪問しました

筑後川にて



三大河川の兄弟が、互いに地域を訪問し合うのもすっかり恒例になりました。6月11日・12日には「第30回筑後川フェスティバル in 大川」に吉野川チーム21名が参加。30回記念シンポジウムでは「兄弟三河川が集い、互いを称え、自慢する」というテーマのとおり、しっかりと互いの川の魅力を語り合いました。

利根川へは10月14日・15日に開催された「源流域の魅力と地域づくり体験 in みなかみ町」に20名が参加。藤原ダムや諏訪峡を見学したり、パネルディスカッションではそれぞれの地域での取り組みを発表しました。

「また来年!」と互いの川や人とのつながりが深まった手ごたえを感じながら帰郷したのでした。



藤原ダムを見学